

# 玉島高校ボランティア通信

No.2

発行：玉島高校 企画広報課



## 活動名 端午の節句まつりボランティア

活動日 平成28年5月5日（木）

玉島市民交流センターで行われた「端午の節句まつり」にボランティアとして参加してきました。イベントでは21種類ものワークショップが開設され、岡山県内の大学生による理科の実験・工作の体験や、アクセサリーやキーホルダーづくり、蒸しパン作りなど、どれも幼児から小学生までが楽しめるブースが盛りだくさんでした。4回目となるこのイベントには、初回から玉島高校生がボランティアとして、茶道部が茶道体験のワークショップを出展して携わらせていただいています。今年はそれに加えて、本校化学部による紙コップでのカイロ作りの体験と不思議なシャボン玉体験のブースを出展してもらい、総勢91名の生徒が協力してくれました。他にも、玉島の武道団体による演舞や詩吟が披露されたり食バザーが出店されたりと、さまざまな内容の企画が交流センターと阿賀崎公園一帯で一斉に行われ、子ども連れの家族など多くの来場者で賑わいました。



去年も参加していたこともあり、だいたいの雰囲気ややるべき事がわかっていたため、スムーズに活動することができた。しかし、子どもたちを誘導する際、自分たちで判断したことをスタッフの方に伝えなかったために失敗しそうになり、改めて周りの人に報告や相談をすることの大切さを学んだ。後半は、改善することができ子どもたちにも喜んでもらえ、何度もブースに来てくれる子どももいたのでとても嬉しかった。【3年生女子】

実験を体験してもらうことで、来てくれた小学生に楽しんでもらうことができ笑顔で帰ってもらうことができた。当初の目標であった、「理科が楽しいものである」ということを知ってもらえたと思うので、活動に参加することができてよかった。【3年生男子】



何よりもやりがいを感じるボランティアだった。私が担当したワークショップは、5歳～小学6年生までの子どもを対象に一緒にアクセサリーを作った。小さい子は本当にとても素直で、出来上がるととても喜んでいて「ありがとう」の言葉にとっても達成感を感じた。約2時間、思っていたよりもたくさん子どもたちが来てくれて、忙しかったけど、子どもたちの元気に私も元気をもらった。【3年生女子】



小さな子の目線に合わせて話したり、明るく笑顔で話したりするなど、考えて接することができた。一度にたくさんのお客さんが来たときは、受付が説明で忙しくて大変だったけど、小さい子たちから話しかけてきてくれて、楽しく活動することができた。担当の方から感謝されてうれしかったし、とてもやりがいを感じた。【1年生女子】

一日だけの短時間だったが、多くの子と触れ合うことができた。私一人で二人の子どもに蒸しパン作りを指導して、最初は戸惑うこともあったが、私たちの話をちゃんと聞いてくれた。とても達成感があり楽しかった。今日のイベントは、教育学部へ進学したい私にとってもふさわしく、よい社会勉強になった。【2年生女子】



体験に来た子どもたちがみんな終始笑顔でお茶を点てたり、お菓子を食べていたりしている姿がとても印象的だった。その姿を見て、子どもたちに茶道に興味を持ってもらえたんだと感じた。子どもとの接し方を学べたり、茶道に興味を持ってもらえたりして、充実した一日だった。【2年生女子】

